



ふるべー



ごみの減量 資源の有効利用のため 分別にご協力を

4月1日(月)から、家庭ごみ有料化・戸別収集がはじまりました。また、資源とごみの分別と収集回数が変わりました。皆様のご協力により、4月～6月の燃やすごみと燃やさないごみの量が、昨年4月～6月の量と比較して大きく減りました。

引き続き、ごみの減量と資源の有効利用のため、資源とごみの分別にご理解、ご協力をお願いします。

問合せ 資源循環課 ☎042(346)9535、FAX042(346)9555

小平・村山・大和衛生組合の資源物中間処理施設の
ペットボトル選別作業



4月～6月のごみ量などの速報値

4月～6月のごみの収集量は、昨年4月～6月の量と比較して、21.3%減りました。

燃やすごみの収集量は、約1,000ト(13.5%)減少

4月～6月の燃やすごみの収集量は、昨年4月～6月の量に比べて約1,000ト、13.5%減りました。燃やすごみが減った主な要因は、市民の皆さんのリデュース(発生抑制)の意識が高まったことや、レジ袋やお菓子の袋などの軟質のプラスチック製容器包装を燃やすごみからプラスチック製容器包装へ分別を変更したことと考えています。

燃やすごみをさらに減らすため、雑がみを資源として出すことや生ごみの水切りに、引き続きご協力をお願いします。

燃やさないごみの収集量は、約866ト(74.9%)減少

4月～6月の燃やさないごみの収集量は、昨年4月～6月の量に比べて約866ト、74.9%と大幅に減りました。燃やさないごみが減った主な要因は、一部の品目を燃やさないごみから燃やすごみへ分別変更したことや、これまで燃やさないごみに混ざっていたプラスチック製容器包装の分別が徹底されたことなどと考えています。

燃やさないごみをさらに減らすため、陶磁器食器や小型家電の拠点回収をご利用ください。

プラスチック製容器包装の量は、約252ト(138.0%)増加

4月～6月のプラスチック製容器包装の量は、昨年4月～6月の量に比べて約252ト、138.0%増えました。プラスチック製容器包装が増えた要因は、燃やすごみや燃やさないごみに混ざっていたプラスチック製容器包装の分別が進んだことと考えています。

今後、プラスチック製容器包装を減らすため、買い物の時のマイバックの利用やトレイの拠点回収の利用など、引き続きご協力をお願いします。



ごみ量・資源とごみの分別 パネル展示

ごみ量などの速報値や、資源とごみの分別方法などが分かるパネルを展示します。

とき 10月15日(火)～18日(金) ところ 市役所1階ロビー